

科目番号	24013	分類	統合分野		履修者	東が丘・立川看護学部		学年	3
科目名	医療安全学 (Safety of Medicine)							3	
								後期	
担当者	○岩本 郁子			区分	必修	単位	1	時間数	15
授業の概要および目標									
<p>【概要】 医療安全の基本的な考え方を理解し、医療における安全性の確保に向けた看護職の役割を学習する。また、今日の医療現場で起きている事故等の事象を踏まえ、ヒューマンエラーやリスクマネジメントなどの多角的な視点から安全を阻害する要因やその対処・予防方法の理解を深めるとともに、医療従事者が遭遇する感染等の危険性について基本的な対応方法を学習する。</p> <p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全の基盤となる考え方を理解する。 2. 医療安全における看護職の役割・責任について理解し、看護職の能力開発の必要性がわかる。 3. 医療安全のための組織（国・医療機関・看護システム）としての取り組みと課題について理解する。 4. 医療事故発生時の考え方、対応、分析方法について理解する。 5. 安全な看護を提供するための自己のあり方、組織のあり方について関心をもつ。 									
授業計画									
回	内容								担当教員
第1回	医療安全の基盤となる考え方 医療事故・医療安全の概念 ヒューマンエラーの発生メカニズム ほか								岩本
第2回	医療安全における看護職の役割・責任 看護職の役割と業務範囲 医療安全における倫理と責任								
第3回	医療安全の取り組み（国レベル） 医療安全と医療の質 医療事故等の報告制度と医療安全対策								
第4回	医療安全の取り組み（医療機関レベル） 安全文化の醸成と医療機関としての安全対策								福元
第5回	看護における医療安全の取り組み① 看護業務と医療事故予防一要因・種類・対策 テクニカルスキルとノンテクニカルスキル								岩本
第6回	看護における医療安全の取り組み② 事例から学ぶ手法								
第7回	医療事故発生時の考え方、分析方法、対応								
第8回	感染予防								
事前・事後学習	事前学習：必携図書で各回に該当する部分を読んでくる。 事後学習：配布資料について復習する。場合によってレポートを課す。								
評価の方法	レポート課題（50%）、筆記試験（50%）から総合的に評価する。								
参考図書・資料等	◎松下由美子他：看護の統合と実践② 医療安全 第3版（メディカ出版） ・参考書・資料は適宜紹介する。								
備考	オフィスアワーについては、履修案内を参照して教員と事前に日程調整する。								

